



報道関係各位

2026.08.10

アストンマーティン ジャパン

Q by Aston Martin と Aston Martin Newport Beach、 ブランドの歴史を称える 限定「Heritage Edition」コレクションを発表

- 1960 年代、70 年代のアストンマーティンを彩ったアイコン的なボディカラーを、ビスポークによってスポーツカーの現行各モデルで復刻
- 往年のボディカラーに合わせて Q by Aston Martin が選りすぐったインテリア
- 復刻カラーの「Heritage Edition」コレクションは世界限定 5 台のみ



2026 年 8 月 3 日、カリフォルニア州ニューポート・ビーチ（米国）：

Aston Martin Newport Beach は、アストンマーティンのビスポーク・サービスである Q by Aston Martin とのコラボレーションにより、1960 年代から 1970 年代を代表するアストンマーティンの名車を彩った象徴的なボディカラーを現代に蘇らせた 5 台限定の「Heritage Edition」コレクションなるスポーツカーを発表しました。いずれもオーダーメイドで製作される世界に一台の特別仕様車で、このコレクションのために最新の塗装技術を用いて再現された往年のボディカラーと Q by Aston Martin によるハンドクラフトのディテールによって、アストンマーティンが誇る豊かなデザインの伝統をモダンな解釈で表現しています。

Aston Martin Newport Beach のみの限定販売となる **Heritage Edition** コレクションに並ぶのは、**Q by Aston Martin** のデザインチームが選んだリバイバルのボディカラーの **2027** 年モデルのスポーツカー5台。エクステリアの色もさることながら、インテリアも、新型 **Vantage** と新型 **Vanquish** では初となる、**Q** によるビスポークのパフォーマンス加工フルレッドシートが採用されたほか、センターアームレストには **Q Heritage** のアストンマーティンのロゴ刺繍が施され、「**Heritage Edition**」と記された限定シルブラークも装着されます。**Heritage Edition** の **DB12** クーペ、**DB12 Volante**、**Vanquish** では、ダークウォルナットのオープンポアのウッドインレイが採用されています。

Aston Martin Newport Beach のゼネラルマネージャーであるジェフ・ウェストは次のように述べています。「どのアストンマーティンにも物語があります。**Heritage Edition** は、一つの黄金期として数えられる時代にアストンマーティンらしさを確立した色を記念しています。**Q by Aston Martin** とのコラボレーションにより、往年のカラーリングに敬意を払いながら、それを現代の最先端のスポーツカーに展開し、アストンマーティンの類まれなる伝統と妥協を許さない未来とをつなぐコレクションを生み出すことができました」

DB12 Volante – ペール・プリムローズ

ペール・プリムローズの **DB12 Volante** は、アストンマーティンの中でも最もよく知られた色を復刻しています。この色は、**1958** 年の **DB4** のパンフレットの表紙で不滅の名声を得た後、コーギー（**CORGI**）社の有名なアストンマーティンのミニカーモデルの色としても採用されました。これは、**1960** 年代半ばに登場する有名なジェームズ・ボンドの **DB5** のミニカーのインスピレーションとなりました。

世界初のスーパーツアラーのコンバーチブルとして、**DB12 Volante** は最高出力 **680PS** のハンドビルトの **4.0** リッター**V8** ツインターボエンジンの洗練を極め、軽々とパフォーマンスを発揮しながら、ドライビングにオープントップならではの高揚感をもたらします。

DB12 クーペ – パシフィック・ブルー

Heritage Edition の **DB12** クーペは、最初に **DB4** で登場し、後に **DB5** と **DB6** でも提供されたパシフィック・ブルーです。**Q by Aston Martin** はかつての **DB6** のボディカラーのパンフレットに記載されたオリジナルのパシフィック・ブルーのサンプルを入念に調べ、このクラシッくな色を忠実に現代に再現しました。

DB12 は、アストンマーティンの **680PS** の **V8** ツインターボエンジンを搭載した真のスーパーツアラーです。胸高鳴る加速、精密なハンドリング、クラストップの動的性能をまとめ上げ、グランドツーリングの世界を新たに定義する存在です。

Vanquish クーペ – チューダー・グリーン

フラッグシップの Vanquish クーペは、アストンマーティンの 1970 年代のモデルとの関りが深いメタリックな仕上げのチューダー・グリーンです。この色は、スポーツカーの現代の最高峰が持つ力強いプロポーションによく映えると同時に、英国チューダー朝時代の優雅さと荘厳さもほうふつとさせます。

Vanquish はアストンマーティンのフラッグシップに位置するフロントエンジン・スポーツカーとして、最高出力 835PS の新型 5.2 リッターV12 ツインターボエンジンを搭載し、息をのむようなパフォーマンス、優れたドライバーエンゲージメント、最高速度 214mph を実現します。

Vantage – ウィンチェスター・ブルー

英国ハンプシャーにある歴史的な大聖堂の街にその名が由来するウィンチェスター・ブルーは、アストンマーティンが 1970 年代に英国のさまざまな街にインスピレーションを得て生み出した色の一つです。特に名を知られるようになったのが伝説的な V8 Vantage であったことから、現在のパフォーマンス重視の Vantage クーペにまさにふさわしい色となっています。

最高出力 665PS の 4.0 リッターV8 ツインターボエンジンを搭載する最新型の Vantage は、よりシャープなレスポンスと高い俊敏性を発揮して極めて高い信頼感をもたらし、次世代フロントエンジン・スポーツカーに対するアストンマーティンのビジョンを体現しています。

Vantage Roadster – ミンク・シルバー

コレクションの最後は、ミンク・シルバーの Vantage Roadster です。1960 年代を通して DB6 で人気を博した淡いメタリック色で、当時 100 台以上の DB6 がミンクで仕上げられました。このカラーは、DB7 が登場するまでアストンマーティンで最も売れていた DB6 の、優雅なラインによく似合う色として高く評価をされました。

Vantage Roadster は 665 PS の V8 ツインターボエンジンに電動式のフォールドルーフを備え、スポーツカーの妥協なきパフォーマンスと動的性能とともに、オープントップの高揚感あるドライビングを実現します。

Heritage Edition コレクションは、アストンマーティンのビスポーク・パーソナライゼーション・サービスである Q by Aston Martin によって提供される無限の可能性を示しています。クライアントとのコラボレーションを通じて、Q by Aston Martin は伝統的なクラフトマンシップを現代的なデザイン、優れたエンジニアリングと融合し、その人のインスピレーションを唯一無二の一台に変えます。

Aston Martin Newport Beach の Heritage Edition は唯一無二の「ワン・オブ・ワン」として、Aston Martin Newport Beach のみを通じて販売されます。

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-utQnij8ZKnAfR1tD>

アストンマーティン・ラゴンダについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって1913年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、Vantage、DB12、Vanquish、DBX707に加え、同社初のハイパーカーであるValkyrieなど、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、Racing. Green.サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは「ブレンドドライブトレインアップアプローチ」による内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーとSUVのラインナップを持つという明確なプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴンダは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で50以上もの国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。

ラゴンダは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media.astonmartin.com/>

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 中井 美里：070-2238-5865

astonmartin-pr@pjbc.co.jp